

News Release

報道関係 各位

2026年2月26日

【イベント開催報告】 青年技術士支援委員会 「思考法を学ぼう！問題解決の第一歩」 対面開催にて大盛況で終了！

公益社団法人日本技術士会 青年技術士支援委員会(委員長:森 祐真)は、2月21日(土)に機械振興会館(東京都港区芝公園3丁目5-8)にて、技術士のコンピテンシー(問題解決・コミュニケーション)の向上を目的としたイベントを開催しました。本イベントでは、技術者の思考法に焦点を当て、講義やグループワークを通じて、三大思考法の「ロジカル・シンキング、ラテラル・シンキング、クリティカル・シンキング」を学びました。当日は、45歳以下の技術者18名が集まり、大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

本イベントでは、「単にフレームワークを使って答えを出すのではなく、思考法の基礎を理解して使い分け、実践する」ことを目標に、講義と個人ワーク・グループワークを通じて、技術者に求められる三大思考法を体系的に学びました。

講義では、各思考法の基本概念とフレームワークを紹介し、「どの思考法を、どの場面で、どのように使い分けるのか」という実践的な視点について理解を深めました。

その後のグループワークでは、「30年後も続くオフィスを計画せよ」というテーマに取り組み、3つの思考法を段階的に活用しました。まず、ラテラル・シンキングのワークでは「ゼロベース思考法」を用いて既存の常識や固定概念に捉われず、新オフィスのコンセプトを定義しました。次に、ロジカル・シンキングのワークでは「ピラミッド・ストラクチャー」を活用し、抽象的なコンセプトから新オフィスに求められる具体的な要件・機能を体系的に導き出しました。最後に、クリティカル・シンキングのワークでは「PAC思考」を通じて前提条件や与条件を元に要件・機能を再検証し、その妥当性を多角的に見直すプロセスを体験しました。

本イベントを通じて、参加者からは「思考法を意識することで発想を整理することが期待できる」「考えの構造化の仕方を学んだ」「再検証の重要性を実感した」といった声が寄せられました。今後、続編として三大思考法を組み合わせて、より複雑な問題を解決するプロセスをプランニングする応用編のイベントを計画しています。



講義の様子



グループワークの様子



集合写真

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 森 祐真

委員会内広報グループ：山本直樹 E-mail：pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。

